

事業報告書

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当期の事業報告書をお届けします。

1. 当期の経営成績・財政状態の概況

当連結会計年度(2021年4月1日～2022年3月31日)において、世界の経済は、5%強という経済成長率(GDPの伸び率)が示すように、堅調に伸長しました。その一方で、主要な経済圏が引続きパンデミック、供給混乱と物価圧力ほかの諸課題に取り組むさなか、2月にロシアによるウクライナ侵攻が勃発しました。世界を大きく揺るがす事態が現在も続いています。当社は、今後とも、予断をもって当たることなく、情勢の変化に俊敏に対処してまいります。かつこれまで通り、従業員の健康と安全を最優先に、高操業の維持と安定供給の確保、債権保全などの事業要件に注力し、顧客との意思疎通を保ち、顧客にとって価値ある製品の開発を推進し、揺るぎない品質の製品を安定的に供給してまいります。

当連結会計年度の業績は、次のとおりとなりました。

1 連結経営成績

※億円未満切捨て

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
2022年 3月期	20,744	38.6	6,763	72.4	6,944	71.4	5,001	70.3	1,203.80
2021年 3月期	14,969	△3.0	3,922	△3.4	4,051	△3.1	2,937	△6.5	706.76

(注) 包括利益 2022年3月期 6,682億円(154.8%) 2021年3月期 2,622億円(△8.6%)

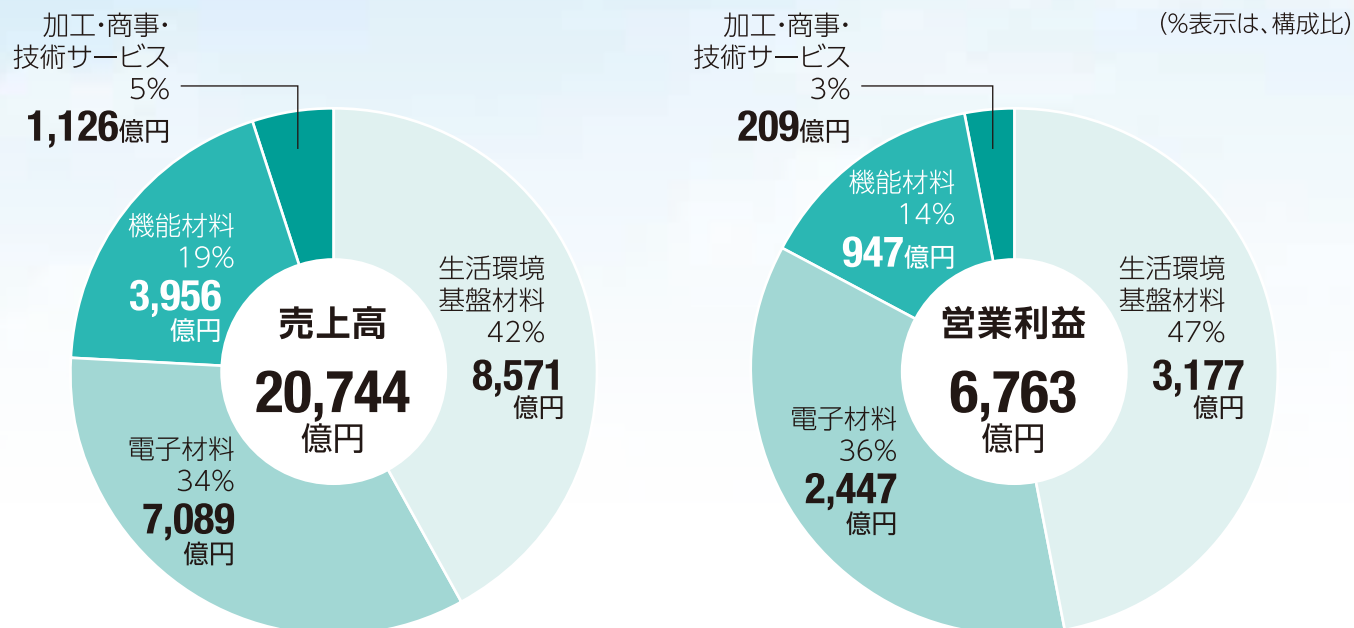
2 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	億円	億円	%	円 銭
2022年3月期	40,534	34,292	82.1	8,007.24
2021年3月期	33,806	28,866	83.2	6,769.72

(参考) 自己資本 2022年3月期 33,265億円 2021年3月期 28,131億円

3 セグメント別の概況

セグメント別売上高と営業利益



▶ 生活環境基盤材料事業

	2021年3月期	2022年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	4,858	8,571	76.4
営業利益	996	3,177	3.2倍

塩化ビニル、苛性ソーダともに、需要は堅調に推移し、今年に入って生じた原料事情を踏まえて、製品値上げに取り組みました。工場の定期修理期間を除き、米国シンテック社を始めとする全拠点でフル操業を継続しました。

▶ 電子材料事業

	2021年3月期	2022年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	5,956	7,089	19.0
営業利益	2,060	2,447	18.8

半導体デバイスの世界的な供給不足は依然解消していません。顧客からの強い需要に応えるべく、当社はシリコンウエハー、フォトリソ、マスクブランクス等の半導体材料を最大限出荷しました。希土類磁石は、アジアの生産拠点で感染対策と自然災害による操業制限がありました。自動車、産業機器、ハードディスク等すべての分野での旺盛な需要に応えるべく、できる限りの操業を実行しました。

▶ 機能材料事業

	2021年3月期	2022年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	3,142	3,956	25.9
営業利益	707	947	34.0

世界的に物流混乱が続く中で最大限の出荷に尽力し、原料高に対応した価格修正に取り組みました。同時に、特徴のある製品を数多く上市して、販売増を図りました。セルロース製品についても値上げを開始しました。

▶ 加工・商事・技術サービス事業

	2021年3月期	2022年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	1,010	1,126	11.4
営業利益	163	209	28.1

半導体ウエハー関連容器の出荷は発送・納入用、工程内用ともに好調で、自動車用入力デバイスの販売も好調でした。食品包装用塩ビラッピングフィルムは事業買収により、売上が増加しました。シリコン関連製品、塩ビ関連製品などで値上げを実施しました。

2. 今後の見通し

今年に入ってから起きた事象及び起きつつある事態に鑑み、2023年3月期の業績予想を合理的に行うことはむずかしいと判断し、連結業績予想は一旦未定としています。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示します。

3. 配当金に関する説明

当期の期末配当金は、先に行いました中間配当金150円に対し、100円増の1株につき250円を予定しています。これにより、当期の年間配当金は前期より150円増、7期連続増配の1株当たり400円となります。

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	150.00	250.00	400.00
2021年3月期	110.00	140.00	250.00

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当受領株主確定日	期末配当：3月31日 中間配当：9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告掲載方法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 (https://www.shinetsu.co.jp/jp/)ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京・名古屋
株主名簿管理人 特別口座の管理機関 (連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

■ 証券会社等の口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 払渡し期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

【お問い合わせ先】

三菱UFJ信託銀行
証券代行部
電話 0120-232-711
(通話料無料)

上記以外の住所変更、配当金の受領方法の指定・変更等のお手続き、ご照会などは口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 単元未満株式の買取・買増請求
- 住所、氏名などのご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定
- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 払渡し期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

【お問い合わせ先】

三菱UFJ信託銀行
証券代行部
電話 0120-232-711
(通話料無料)

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要があります。

■ 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

■ マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま お取引の証券会社までお問い合わせください。

- 証券会社とのお取引がない株主さま

三菱UFJ信託銀行 証券代行部までお問い合わせください。
電話 0120-232-711 (通話料無料)